

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2002-153734(P2002-153734A)

【公開日】平成14年5月28日(2002.5.28)

【出願番号】特願2001-180165(P2001-180165)

【国際特許分類】

B 01 D	53/94	(2006.01)
A 61 M	16/01	(2006.01)
B 01 J	23/58	(2006.01)
B 01 J	23/60	(2006.01)
B 01 J	23/62	(2006.01)
B 01 J	23/89	(2006.01)
B 01 J	23/656	(2006.01)
B 01 J	23/63	(2006.01)

【F I】

B 01 D	53/36	1 0 2 B
A 61 M	16/01	M
B 01 J	23/58	A
B 01 J	23/60	A
B 01 J	23/62	A
B 01 J	23/89	A
B 01 J	23/64	1 0 4 A
B 01 J	23/56	3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月3日(2008.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】アルミニウム、マグネシウム及びロジウムを含有することを特徴とする亜酸化窒素分解触媒。

【請求項2】アルミニウム、マグネシウム及びロジウムが担体に担持されていることを特徴とする請求項1に記載の亜酸化窒素分解触媒。

【請求項3】マグネシウム及びロジウムがアルミナ担体に担持されていることを特徴とする請求項1に記載の亜酸化窒素分解触媒。

【請求項4】アルミニウムの少なくとも一部とマグネシウムにより、スピネル型結晶性複合酸化物が形成されている担体に、ロジウムが担持されていることを特徴とする請求項1に記載の亜酸化窒素分解触媒。

【請求項5】亜鉛、鉄、マンガン及びニッケルからなる群から選ばれる少なくとも1種の金属、アルミニウム及びロジウムを含有することを特徴とする亜酸化窒素分解触媒。

【請求項6】亜鉛、鉄、マンガン及びニッケルからなる群から選ばれる少なくとも1種の金属、アルミニウム及びロジウムが担体に担持されていることを特徴とする請求項5に記載の亜酸化窒素分解触媒。

【請求項7】亜鉛、鉄、マンガン及びニッケルからなる群から選ばれる少なくとも1種の金属及びロジウムが、アルミナ担体に担持されていることを特徴とする請求項5に記載の

亜酸化窒素分解触媒。

【請求項8】アルミニウムの少なくとも一部と、亜鉛、鉄、マンガン及びニッケルからなる群から選ばれる少なくとも1種の金属により、スピネル型結晶性複合酸化物が形成されている担体にロジウムが担持されていることを特徴とする請求項5に記載の亜酸化窒素分解触媒。

【請求項9】請求項1～8のいずれかに記載の亜酸化窒素分解触媒と亜酸化窒素を含有するガスを接触させることを特徴とする亜酸化窒素の分解方法。

【ブルーフの要否】要